

邑楽郡青少推だより 第1号

令和2年6月1日発行



新型コロナウイルスの影響で、外出自粛の生活が続いていますが、皆さんお元気にお過ごしですか。4月1日付けで委嘱を受けられた郡内146名の推進員の皆さん、3年間よろしくお願いいたします。

邑楽郡青少推は、郡内5町青少推の連合組織です。各町青少推の会長・副会長さんが役員を、東部教育事務所 生涯学習係 青少年育成コーディネーターの富岡が事務局を務めます。

そして、郡内5町の青少推相互の連絡調整を図り、青少年対策推進に寄与することを目的とし、この目的を達成するために、年3回の役員会議、各種研修会、親善交流会等を開催しています。ぜひ多くの推進員さんに参加していただきたいと思っております。御協力よろしくお願いいたします。

今年度の定期総会（書面表決）で承認された役員の皆様をご紹介させていただきます。

◆会長 近藤 千秋（千代田町青少推会長）

会長の近藤千秋です。名前は千秋ですが男子です。信州生まれが原因なのか、よく『理屈っぽい』って言われます。高校の同窓生には俳優の田中要次さん、大相撲力士の御嶽海久司さんがいます。私も3年間相撲部に所属し、初段を取得しています。球技、格技はほぼ出来ます。学生時代は山行ばかり、大縦走、沢登り、登攀、冬山、山スキー、氷瀑全てしました。食べ物の好き嫌いほぼ無し、辛党（左党）です。酒類にはちょっとうるさいです！子どもは1女2男（全員別居）、双子の孫がいます。あと妻が一人と家猫雄3匹います。一級建築士で設計から施工までのオールラウンドプレーヤーです。平常時の休日は山に登っているか、ラグビー観戦しているか、DIYしています。青少推も7期目に突入です、3年間どうぞよろしくお願いいたします。

◆副会長 小島 正宏（邑楽町青少推会長）

副会長の小島正宏です。生まれて55年間、鶴舞う形の中で生活しています。中学時代は野球ボールを追いかけて、高校では応援団で甲子園の夢を追いかけてました。家族は妻と娘が二人います。趣味はサラブレッドの走る姿を観ることです。ちなみに娘の名前は、私たちがもっとも愛したサラブレッド（サイレンススズカ）とその力を開花させた騎手（武豊）から、長女は涼（すずか）、次女は優（ゆたか）と名付けました。仕事は鉄道の信号機の部品を作っています。

青少年時代の自分の過去の行動は振り返らず、今は青少年の育成に熱い思いを描いています。3年間よろしくお願いいたします。

◆副会長 橋本 浩樹（大泉町青少推会長）

大泉町青少推会長を引き受け、周りの皆様に支えられ二期目に入りました。物静かで温厚に見える？と言われますが、実際、頑固で理屈っぽく態度にはでませんが怒りっぽい部分もあります。息子（6年生）1人、3人家族、妻はフィリピン人で年が離れているものの頑固、似たもの夫婦でございます。趣味は学生時代にもしていたラジコン、くるま中心ですが、たまにドローンなど息子と一緒に楽しんでいます。台数ばっかり増え、妻や子から「こんなにあってどうするの！」と言われていています。他にも「住吉ひょっこ社中」という団体に属し、介護施設や祭り等のイベントに呼ばれ、ひょっこ踊りをしています。青少推役員になり今期で5期目になります。これからも皆様と力を合わせ、青少年犯罪と誹謗中傷等の被害者の減少に尽くしていきたいと思います。

◆監事 茂呂 英樹（板倉町青少推会長）

本年度より板倉町青少推会長を承った茂呂英樹と申します。住まいは群馬県最南端、くちばしの先の海老瀬というところです。私の住む地域では消防団入団が輪番制になっており、ほぼ生え抜きの人間は、「火消しの経験を積んで1人前」のような雰囲気ある地域柄、退団後、先輩の命令にも逆らえず『次はお前が青少推をやってくれ』の一言で約3年前に受けさせていただきました。最初は判らないことばかりでしたが、親切丁寧な指導もあり、少しずつですが、慣れも手伝い、色々経験させていただきました。今年、会長職の依頼があり、これまで商工会青年部長、消防団分団長などと色々やらせていただきましたが、育んでもらった地域に少しでも恩返しができればと思い、微力ながら受けさせていただきました。今年は幸先の悪いスタートになりましたが、青少推の活動を通じて、少しでも地域貢献できるよう頑張りたいと思います。

◆監事 石村 佳夫（明和町青少推会長）

本年度より、明和町青推会長を務めさせていただくことになりました石村佳夫です。3年間どうぞよろしくお願い致します。青少推歴は5期目、13年になり、明和町青少推では歴代最長期間となりました。1期目から3期目までは推進員として、4期目は副会長の立場で活動を実施してまいりましたが、今期は会長としての立場ですので、私としては重圧を感じております。しかしながら、会長職を受けたからには、微力ですが、関係団体そして推進員の皆さんに協力して頂きながら、職責をはたしてまいりたいと思っております。さて、本年度は新型コロナウイルスの影響で、まだまだ順調にスタートが切れていない状態ですが、何時でも順調なスタートが切れる準備はしておかなければなりません。そして、今以上に明和町青少推を盛り上げていきたいと思っています。



発行/ 邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会
編集・印刷/ 東部教育事務所生涯学習係
〒373-0033 太田市西本町60-27
TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101